



町長コラム 第156号

美里町のこれからの想う

コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻は、今後の世界や日本、美里町にも大きな影響を及ぼすでしょう。

気候変動対策として、脱炭素社会の実現に向けて舵を切っている時に、ロシアがウクライナに侵攻し、原油や穀物、希少物質などの高騰が続き、経済は大混乱しています。

ロシアはこのままウクライナの侵略を続けるのでしょうか？ プーチンは、核や化学兵器を使うのでしょうか？ 世界はその時どう対応するのか…。

この広報が発行されるまでに戦闘が終わり、平和が訪れることを願うばかりです。

さて、これまでの美里町における『まちづくり』を振り返ると、農業の補助金を活用し、農地の圃場整備を進め、農業振興でまちづくりを進めてきました。

当時は、農村活性化土地利用構想等、農業振興とまちづくりを進める手法がありましたが、全国的な乱開発から現在は使えなくなりました。

一方、農産物価格は低迷し、コロナ禍でさらに需要を減らしています。また、後継者はごく僅かになっていますが、農地を転用することは極端に制限されています。

今や、条件の悪い農地や山林は、やっかいなお荷物と化し、農地は草退治に剪定枝チップを入れ管理されず、山林を購入した業者が、土砂の搬入や太陽光の設置をするところが出てきました。

これらを何とかしたいとの思いで、まずスマートICを開通させました。次は、役場と駅周辺に民間の商業、工業、住宅地等を創出し、脱炭素、DXなどを取り入れ、新たな拠点を創るための計画づくりを進めています。

これらにより、課題と向き合い、お荷物を資源に変える努力を続けたいと思います。

私の家は農家のため、田畑を僅かながら所有しています。7年前に返却されたため、水田と畑の草退治を兼ね、町の農業振興に役立つかもしれないと、水田は無肥料（除草剤のみ使用）で米作7年目となり、畑は水溶性食物繊維の豊富なモチ麦などを試作しています。

水田は、堆肥も何も入れないのに6俵弱は収穫できます。モチ麦は鶏糞で栽培し、高血圧や糖尿病、腸内環境の改善に役立ちます。

現在は、正解のない、先が分からない世の中です。10年、20年先を想い、今できることを進めます。

ところで、私も3回目のワクチン接種を行いました。

ファイザー社製、武田/モデルナ社製のいずれにしても、安全性と有効性が確認されています。

お早めの接種をご検討いただけると幸いです。



行政区別 推奨歩数達成率

行政区別の1月の推奨歩数達成率がまとまりました。日に日に暖かくなりますので、歩いて健康維持に努めましょう。“わすれずに”身につける!“わすれずに”月1回の送信！20歳から参加できます。保健センターまでご連絡ください。



推奨歩数	
65歳以上	7,000歩
65歳未満	8,000歩

行政区	1月	前月増減	12月
根木	29.31%	▲3.45%	32.76%
関	19.13%	▲2.11%	21.24%
南阿那志	25.19%	▲0.93%	26.12%
北阿那志	19.42%	▲1.44%	20.86%
小茂田	22.22%	▲1.63%	23.85%
下児玉	21.52%	▲3.65%	25.17%
北十条	30.63%	3.60%	27.03%
南十条	28.92%	1.21%	27.71%
沼上	29.81%	▲3.04%	32.85%
広木	22.45%	▲0.35%	22.80%
駒衣	24.64%	▲0.60%	25.24%
木部	26.25%	▲3.05%	29.30%

行政区	1月	前月増減	12月
古郡	26.99%	▲0.96%	27.95%
甘粕	35.50%	▲0.43%	35.93%
中里	28.36%	1.89%	26.47%
湯柝	21.15%	▲2.38%	23.53%
野中	19.79%	▲6.74%	26.53%
小栗	15.91%	1.96%	13.95%
猪俣	27.69%	▲1.10%	28.79%
湯本	26.83%	▲2.80%	29.63%
大仏	25.20%	2.80%	22.40%
白石	31.43%	2.86%	28.57%
円良田	44.90%	3.72%	41.18%

問合せ＝保健センター 健康増進係 ☎76-2855

美里町子ども家庭総合支援拠点

18歳までのすべての子どもとその家庭を対象に、身近な相談窓口として、令和4年4月に「美里町子ども家庭総合支援拠点」を福祉課内に設置しました。

専門の相談員（子育て支援員）が、子育てに関する相談や児童虐待などに関する相談に、きめ細やかに対応し、支援します。

こんなお悩み ご相談ください

子どもへの関わり方がわからない

家庭のことを誰に相談していいかわからない

イライラを子どもにぶつけてしまう

子どもの発達が心配

子どもが学校に行きたがらない

支援内容

- 子どものいる家庭全般に関すること
相談への対応、必要な情報の提供、調整 など
- 養育支援の必要な家庭・児童虐待に関すること
実情の把握と家庭への継続的な支援、関係機関との連絡調整 など



1人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

子育てをしていく中で、悩んだり、イライラしたりすることは、多くのかたが経験しています。

子育てを頑張るのはとても大変なことです。子育ての大変さを1人で抱えるのではなく、少しでも困ったことがあればご相談ください。

相談時間

- 月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時
- ※相談者や相談内容に関する秘密は守られます。
安心してご相談ください。

相談・問合せ＝美里町子ども家庭総合支援拠点（福祉課内） ☎76-5132